



会津駒ヶ岳駒ノ大池より山頂（檜枝岐村提供）

尾瀬国立公園記念式典

尾瀬から地球環境へのメッセージ



尾瀬国立公園
OZE NATIONAL PARK

2007年12月23日(日)

午後1時～午後5時 [開場12時]

日本消防会館 ニッショーホール 入場無料 | 先着700名[申込方法:裏面参照]

第Ⅰ部 みんなで考える 尾瀬と自然環境

尾瀬国立公園ロゴマーク表彰式

特別講演 ■ 養老 孟司 氏(東京大学名誉教授):「自然環境を肌で学ぶ」

記念講演 ■ 中村 玲子 氏(ラムサールセンター事務局長):「ラムサール条約の尾瀬」

■ 赤木 右 氏(九州大学大学院理学研究院教授):「湿原から考える地球・人間環境」

第Ⅱ部 みんなで楽しむ 尾瀬と地域文化

尾瀬周辺地域の伝統芸能

■ 尾瀬太鼓 和太鼓組曲「尾瀬の四季」より／群馬県片品村

■ 舞踊「こまか広大寺(市無形民俗重要文化財)」 「魚沼はねおけさ」／新潟県魚沼市

■ 檜枝岐歌舞伎「一之谷嫩軍記 須磨浦の段」／福島県檜枝岐村

サイドイベント 関係団体によるパネル展示ほか(2Fホール前)

主催 | 尾瀬国立公園記念事業実行委員会

共催 | 環境省

協賛 | 社団法人 日本損害保険代理業協会

後援 | 文化庁、林野庁、毎日新聞社、読売新聞東京本社、産経新聞社、東京新聞、共同通信社、時事通信社、NHK、福島民報社、福島民友新聞社、上毛新聞社、新潟日報社、福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、群馬テレビ、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、TBS、フジテレビジョン(一部予定含む、順不同)



尾瀬は、古くから保護と適正利用の先駆的な取り組みがなされ、「自然保護の原点」と言われています。21世紀の新しい国立公園となった尾瀬が周辺地域とともに歩みながら、地球環境に対して果たしうる役割はなにか、尾瀬をそして自然を愛するすべてのみなさまとともに考えます。

第Ⅰ部

みんなで考える
尾瀬と自然環境

特別・記念講演 13:30～15:50



■養老 孟司氏

「自然環境を肌で学ぶ」

昭和12年生まれ

東京大学名誉教授



■中村 玲子氏

「ラムサール条約の尾瀬」

昭和22年生まれ

ラムサールセンター事務局長

2005年「ラムサール湿地保全賞」受賞



■赤木 右氏

「湿原から考える地球・人間環境」

昭和32年生まれ

九州大学大学院理学研究院教授

第10回「尾瀬賞」受賞

第Ⅱ部

みんなで楽しむ
尾瀬と地域文化

尾瀬周辺地域の伝統芸能 16:00～17:00



●尾瀬太鼓

和太鼓組曲「尾瀬の四季」より

平成3年12月にふるさと創生事業を契機として
設立



●魚沼市舞踊

「こまか広大寺」「魚沼はねおけさ」

同市守門地区において、明治から続くといわれる
郷土芸能



●檜枝岐歌舞伎

「一之谷嫩軍記 須磨浦の段」

260余年の伝統を誇り、平成16年には国立劇場
において公演

お申し込み

氏名・住所・電話番号・FAX番号・Eメール
アドレス（お持ちの場合）を記載の上、「記念
式典参加申込」と明記し、はがき・FAX（下記様
式）・Eメールで、下記宛先までお申し込みくだ
さい。尾瀬保護財団ウェブサイトからお申し込みいた
できます。なお、お申込受付は先着順といたします。

尾瀬国立公園記念事業実行委員会事務局

〒371-8570

群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県庁17階

（財団法人 尾瀬保護財団事務局内）

【FAX】027-220-4421

【Eメール】kinen@oze-fnd.or.jp

【URL】http://www.oze-fnd.or.jp/

会場案内

日本消防会館

ニッショーホール

東京都港区虎ノ門2-9-16

☎ 03-3503-1486

【地下鉄銀座線】

虎ノ門駅3番出口 徒歩5分

【地下鉄日比谷線／千代田線】

霞ヶ関駅A4番出口 徒歩10分

【地下鉄日比谷線】

神谷町駅4番出口 徒歩10分

※会場には駐車場がありません。
お車でのご来場はお控えください。



尾瀬国立公園記念式典 参加申込書（FAX用）

受付No. _____

太枠の中に必要事項をご記入の上、そのまま送信してください。※足りない場合はコピーしてご使用ください。

ふりがな お 名 前	①	②
ご 住 所	〒 —	〒 —
電 話 F A X	() — () —	() — () —
E-mail		